

3サンハイツせけんばな紙

第 49 号

令和7年12月1日

編集責任者
田島康弘 (3-101)
作成責任者
渡邊芳憲 (9-503)
編集委員
小松清明 (10-501)



団地内の野草
田島康弘 (3-101)
ハコベ (繁縷) 別名ハコベラ
1号棟北側の植え込みの中で9月頃見つけました。ご存知の通り春の七草の一つで食べられます。今まで紹介してこなかったことが不思議なくらい良く知られた草ですが、団地内の目立つところには生えていませんでした。
ハコベが生えている畑は土壌が肥沃であり「良い畑」だと言われている。炎症を抑える効果のある薬草でもあります。また、ヒヨコグサとも言われ、昔は鶏にあげると最初に食べたそうです。花言葉は「愛らしさ」です。

12月行事予定

詳細はL.L.かもいけ141号に

- 5日(金) ◎真砂商店街イルミネーション点灯式 18:30～ 鹿児島銀行真砂支店駐車場
- 8日(月) ◎体幹トレーニング (1回目) 11:00～12:00 鴨池生協クリニック5階 参加費: 500円
2回目と同内容 担当者: 片平さん ☎099-260-3532、☎080-2739-3578
- 9日(火) ◎火災予防の日 (毎月9日)
- 10日(水) ◎いないいないばあ(子育てサロン) 10:00～(70～80分) 真砂福祉館
校区社協主催 連絡先: 坂口さん ☎090-3737-8005、松崎さん ☎090-3783-2421
◎スマートフォン相談会 (リモート相談) 10:00～12:00 校区公民館
要事前申込み: 8日午前中まで
- 11日(木) ◎第8回プティエコール(女性教室)「アロマバルーンモビール」
10:00～12:00 校区公民館 中込締切: 前日(10日)午前中まで
参加費(材料費): 2000円 持ち物: 筆記用具、飲み物(必要に応じて)、持ち帰り用袋
- 12日(金) ◎鴨池中学校 授業参観・PTA
- 13日(土) ◎鴨池小学校 土曜授業
◎鴨池中学校 土曜授業
- 15日(月) ◎鴨コミュ・鴨小PTA合同リサイクル活動 7:30～8:00 鴨小正門/東門
- 18日(木) ◎頭いきいき!音読塾 14:00～15:30 鴨池生協クリニック5階 参加費: 無料
担当者: 片平さん ☎099-260-3532、☎080-2739-3578
- 21日(日) ◎餅つき大会 10:00～12:00 真砂本町公園 ●餅の無料配布: 12:00から、8:00から整理券配布
●綿あめ・ポップコーンの無料配布 ●親子餅つき体験・餅まるめ体験 ●お結び・豚汁販売
- 22日(月) ◎体幹トレーニング (2回目) 11:00～12:00 鴨池生協クリニック5階 参加費: 500円
1回目と同内容 担当者: 片平さん ☎099-260-3532、☎080-2739-3578
- 24日(水) ◎鴨池小学校 終業式
◎鴨池中学校 終業式
◎スマートフォン相談会 (リモート相談) 10:00～12:00 校区公民館
要事前申込み: 22日午前中まで
◎鴨かもサロン 10:00～11:20 鴨池生協クリニック1階フロア 参加費: 100円
担当者: 片平さん ☎099-260-3532、☎080-2739-3578

★問い合わせ・申込み等

鴨池校区コミュニティ協議会事務局 ☎099-285-1522

(月・水・金曜日 9:00～12:00、火・木曜日 10:00～12:00、祝日は休み)

鹿児島市社会福祉協議会について

鹿児島市社会福祉協議会 俣野悠希

◆掲載に当たって（前書き）

この原稿は、市社協が主催した「地域デビュー講座」に弊紙の編集委員の一人である田島が参加した際に、市社協の俣野氏に依頼したものです。

地域のあるべき姿の土台を提供するものと考え、掲載いたします。

皆様のご感想をいただければ幸いです。（田島康弘）

1 鹿児島市社会福祉協議会について

鹿児島市社会福祉協議会（昭和29年設立、通称「市社協」）は、様々な福祉課題を地域の方々と考え、話し合い、解決を図るために活動している公共性の高い民間の福祉団体です。※社会福祉協議会は、社会福祉法第109条に規定されています。

2 どのような活動をしているのか

(1) 校区社会福祉協議会への支援

鹿児島市内には、おおむね小学校校区ごとに任意に設置された74の「校区社会福祉協議会（通称「校区社協」）」があります。

「校区社協」は地域住民で構成された団体で、校区内の福祉の課題を少しでも良い方向に導くために様々な団体が参加し、福祉について話し合いながら活動する団体です。

鹿児島市社協は、校区社協の活動をサポートすることで、地域福祉活動の推進に取り組んでいます。

【校区社協の主な活動内容】

- ・子育てサロンの実施
- ・地域内のさりげない見守り活動
- ・介護講習会の実施 など
- 【市社協から校区社協への主な支援の内容】
- ・活動費の助成



校区社協活動に関する研修会の開催

・介護講習会に対する講師の派遣

・ホームページや広報紙等での活動の紹介 など

(2) 子ども食堂支援事業

鹿児島市内で活動する子ども食堂に対して助成金を交付するなどの支援を行なっています。（令和7年度10月末時点44団体）

子ども食堂を支援することにより、子どもが安心して過ごせる地域社会の形成や、食を通じた地域とのふれあいにより、子供たちが心身共に健やかな育成を図ることを目的として活動しています。

(3) ご近所サロン支援事業

鹿児島市内で地域住民の「集い」や「通い」の場づくりとして活動しているご近所サロン活動を実施している団体に対して、助成金を交付するなどの支援を行なっています。（令和7年度10月末時点49団体）

ご近所サロン活動を支援することにより、地域住民が身近な場所で気軽に集まり、仲間作りや情報交換を行なうことで、誰もが安心して暮らせる地域の居場所づくりを推進することを目的としています。

(4) そのほかの取り組み

上記のほか、生活困窮世帯に対する食品の配布と相談支援、地域の団体へのイベント用品の無料貸出、車いすの無料貸出、地域福祉人材の担い手確保のための「地域デビュー講座」の開催、ボランティアセンターの運営、鹿児島市からの受託事業、共同募金運動への協力など、様々な事業を行なっています。

3 地域福祉活動計画について

市社協は、地域住民団体やボランティア団体、社会福祉施設等と協力し、市内の地域福祉推進の方向性や活動方針を定めるための「地域福祉活動計画」を平成16年度

に策定し、おおむね5年度ごとに更新し現在第5次計画となっています。計画では、「みんながつながり・支え合う 生きがいあふれる福祉のまち かごしま」を基本理念として掲げ、四つの基本目標に基づき、上記2に記載している様々な事業を実施しています。

なお、基本理念や計画期間は鹿児島市が策定する「地域福祉計画」とも共有、連携しています。

【基本目標】

- ①「身近でふれあい共に見守る地域づくり」
- ②「支え合い活動の担い手づくりとボランティア活動の推進」
- ③「地域の福祉を支えるネットワークづくり」
- ④「生き生きとした暮らしを支える仕組みの充実」

4 そもそも福祉とは？

社会では、高齢者福祉や児童福祉、障害者福祉などの言葉が多く使われ、特定の誰かを助けることという意味合いとして感じられる場面もありますが、本来の意味として、「福祉」とは、すべての人が幸せで安心して暮らせる社会を目指し、お互いに助け合う仕組みや活動のことを指しています。

また、性別や世代、障碍の有無などに関わらず、誰もが安心して暮らせる社会づくりのために、私たちに与った「福祉」だとも言われています。福祉活動とは、身近な普段の暮らしと密着しているもので、誰にとっても関わりがありけりして参加のハードルが高いものではありません。

がいまさら、自分自身のやさしさやおもいやりの気持ちを行動に表わすものとして、ボランティア活動や地域福祉活動にもぜひ積極的に参加していただけると幸いです。

写真提供は市社協本部（山下町）

